

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 2 - (2) 危機管理課 】

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

2 性別にとらわれない活躍の場づくり

具体的方向

(2) あらゆる分野への男女共同参画の推進

担当部署

市長室

危機管理課

事業名	事業概要
① 地域活動への男女共同参画の推進	多様な視点を取り入れた地域防災計画の策定、運用

現状	地域防災計画の運用実施	目標	地域防災計画に基づき、実施継続
----	-------------	----	-----------------

○ 前年度実績 (平成 30 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題
平成29年度までのニーズ調査等を反映し、子育てファミリー向け防災セミナーを実施する。また、子育てファミリーのための防災ハンドブックを作成し関係所属及び関係施設に配布する。	イベント開催 ハンドブック作成	1,099	防災セミナー及び防災ハンドブック作成過程において、子育て世代夫婦に対し災害に対する日ごろからの備え、災害時に役立つ知恵等について普及啓発できた。 平成30年度作成した防災ハンドブックについては、継続して普及啓発していく。
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位
アウトドア防災ガイドのあんどうりす氏に講演いただき、子育てファミリー防災「子どもを守る防災セミナー」を開催、子育て世代男女多くに参加いただいた。 子育てファミリーのための防災ハンドブックを作成	セミナー 1回 冊子 1,500冊 作成	1,085	<input type="checkbox"/> 年度ごと <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度単位 3 年 今年度における達成状況 A 目標に対する達成状況 A

○ 今年度予定 (令和 元 年度)

活動内容	予定数値	予算(千円)
平成30年度作成した防災ハンドブックについては、継続して普及啓発していく。	1,000部 増刷	146

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
地域防災計画に従って見直しを行い、効果的な運用を行いたい。
令和2年度まで
当該事業は平成30年度で完結した。 防災ハンドブックについては、総合防災ガイドと併用して市民の防災減災知識の向上に活用していく。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。また、セミナー参加人数の記述に努めること。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

総務部

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

職員課

具体的方向

(1) 多様な働き方への支援

事業名	事業概要
① 職場環境、労働条件格差の解消の促進	長時間労働の解消

現状	随時実施	目標	随時実施

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
・ノー残業デー強化月間を設けて残業の抑制およびワークライフバランスの推進に取り組む。 ・時間外勤務命令が月40・60時間以上となる職員の報告の継続実施。 ・係、担当ごとの時間外勤務実績(30時間以上)の公表。 ・時差勤務の検討	■常勤職員の平均超過勤務時間数16時間	-	ノー残業デー強化月間を設定したところ、期間月については、一定の時間外勤務抑制効果が見受けられ、ワークライフバランスの推進に寄与した。 しかしながら、年間の月平均残業時間数はほぼ横ばいとなっていることから、目標達成に向けた様々なアプローチを検討していかなければならない。 時差勤務も含めた働き方改革について検討する必要がある	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
継続して、時間外勤務命令が月40・60時間以上となる職員の報告及び時間外勤務実績(月30時間以上)の公表を行った。 また、新たな取り組みとして、7月・8月をノー残業デー(水曜日)強化月間とし、水曜日に残業を行う場合は所属部長の押印を必要とする報告書を提出させることにより、定時帰庁を促し、ワークライフバランスの推進を行った。 時差勤務について検討するも未導入。	■常勤職員の平均超過勤務時間数17.31時間	-	<input type="checkbox"/> 年度ごと <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度単位	5 年
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			D	D

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
・前年に続き、ノー残業デー強化月間を設定し、残業の抑制およびワークライフバランスの推進に取り組む。 ・時間外勤務命令が月40・60時間以上となる職員の報告の継続実施。 ・係、担当ごとの時間外勤務実績(30時間以上)の公表。 ・時差勤務の検討	■常勤職員の平均超過勤務時間数16時間	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
繁忙職場に再任用職員を重点的に配置する。
令和2年度まで
常勤職員の平均超過勤務時間を月10時間以下にする。

協議会評価	協議会コメント
D	達成率を上げるためには何が必要かを考察し、目標の変更等を含め、様々な方法を試みること。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

総務部

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

職員課

具体的方向

(1) 多様な働き方への支援

事業名	事業概要
② 育児休業・介護休業制度の普及・促進	男性職員への育児休業・介護休暇制度の普及啓発

現状	随時実施	目標	随時実施

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業および介護休暇制度の周知。 ・取得率等を定期的に発信することで、周囲の理解の得やすい環境づくりを試みる。 ・取得しやすい環境づくりのため、管理職に対する研修等の実施。 ・男性職員向けの育児休業等のパンフレットを作成する。 	■ハラスメント防止・イクボス研修(年1回)	—	イクボス研修を引き続き行うと共に、子どもが生まれた男性職員にも休暇制度の声掛けを行ったが、男性職員の育児に関する休暇取得率は伸び悩んでいる状態である。短期間での取得を促す等、啓発に工夫が必要と感じている。					
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位					
<ul style="list-style-type: none"> ・課長補佐級(副主幹等)に昇格された方を対象とし、イクボス研修の実施。 ・子どもが生まれた男性職員に対して、休暇制度等のアナウンスを行いました。が、育児休業、部分休業又は育児短時間勤務を取得する職員はいませんでしたので取得率は0%です。 	■ハラスメント防止・イクボス研修(年1回)	—	<input type="checkbox"/> 年度ごと <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度単位 <input type="text" value="5"/> 年	<table border="1"> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	D	D
今年度における達成状況	目標に対する達成状況							
D	D							

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
<ul style="list-style-type: none"> ・男性職員向けの育児休業等のパンフレットを作成する。 ・取得率等を定期的に発信することで、周囲の理解の得やすい環境づくりを試みる。 ・取得しやすい環境づくりのため、引き続き管理職に対する研修の実施。 	■ハラスメント防止・イクボス研修(年1回)	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
育児休業取得状況の確認及び制度の周知
令和2年度まで
育児休業や部分休業、育児短時間勤務を取得する男性職員の割合を10%以上にする。

協議会評価	協議会コメント
D	達成率を上げるためには何が必要かを考察し、目標の変更等を含め、様々な方法を試みること。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

2 性別にとらわれない活躍の場づくり

具体的方向

(2) あらゆる分野への男女共同参画の推進

担当部署

総務部

職員課

事業名	事業概要
② 政策・方針決定等の意思決定における男女共同参画の推進	行政機関での女性の管理職登用の推進

現状	27.81%	目標	公平な人事登用の実施
----	--------	----	------------

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
管理職登用率の確認及び、引き続き性別にかかわらず公平に優秀な人材を管理職へ人事登用を行っていく。	28.50%	—	女性管理職の割合の実績数値は横ばいであったが、数年単位でみれば増加傾向にあり、今後も性別にかかわらず公平な人事登用を行っていく。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
女性管理職(6級以上) 42人 管理職総数(6級以上) 151人	27.81%	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			B	B

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
管理職登用率の確認及び、引き続き性別にかかわらず公平に優秀な人材を管理職へ人事登用を行っていく。	28.50%	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
管理職登用率の確認及び、引き続き公平な人事登用を行い、6級以上の女性職員の割合を20%にする。
令和2年度まで
管理職登用率の確認及び、引き続き公平な人事登用を行い、6級以上の女性職員の割合を30%にする。

協議会評価	協議会コメント
B	引き続き、目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

担当部署

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

総務部

基本的方向

職員課

1 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

事業名	事業概要
③ 異性への暴力防止の意識啓発	セクシュアル・ハラスメント防止のための啓発の実施

現状	年1回実施	目標	年1回以上実施

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
研修を年1回以上開催し、研修の対象者など、計画的に割り振ることで職員に広く周知するとともに、セクシュアル・ハラスメント、パワーハラスメント及びマタニティハラスメントを生じさせない環境づくりに努める。	—	113	定期的な研修の実施によって、職員のハラスメントに対する認識は高まっている。研修の対象者のみならず、全職員に対してハラスメント防止の啓発等を効果的に行う方法を考えることが課題である。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
・平成30年5月17日に副主(技)幹昇格者24名に対してハラスメント防止・イクボス研修を実施した。 ・人権週間にあわせて、「職場におけるハラスメントの防止について」といった全庁的な事務連絡の中でハラスメント防止に関する啓発を行った。	■ハラスメント防止・イクボス研修(年1回) ■人権週間にハラスメント防止の啓発を全職員に対して行う	113	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位	年 今年度における達成状況 目標に対する達成状況 A A

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
引き続き研修を年1回以上開催し、全職員に対してセクシュアル・ハラスメントに対する啓発週間等を設け、周知徹底する。	■ハラスメント防止・イクボス研修(年1回) ■人権週間にハラスメント防止の啓発、相談窓口等の職員への周知を行う	113

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで	研修を年1回以上開催し、研修の対象者など、計画的に割り振ることで職員に広く周知する。
令和2年度まで	他の基本研修の中にセクシュアル・ハラスメントに関する内容を積極的に取り入れることで、セクシュアル・ハラスメントを生じさせない環境づくりに取り組む。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

担当部署

総務部

基本的方向

職員課

1 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

事業名	事業概要
③ 異性への暴力防止の意識啓発	セクシュアル・ハラスメント、パワーハラスメント等に関する相談窓口の周知及び整備

現状	随時実施	目標	随時実施

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
・引き続き相談窓口の周知と相談しやすい環境の整備を行う。 ・セクシュアルハラスメントに関する相談・苦情処理委員会の委員を選任し、相談体制の充実を図る。 ・職場におけるハラスメント防止要領を作成・公開することにより啓蒙を行う。	随時実施	—	相談窓口の認知度が上がり、相談しやすい環境が整いつつあるが、人によっては相談しにくい内容であるため表面化していない問題もあると思われる。今後も更なる改善に向けて、引き続き庁内周知と早めの対応に努めていきたい。ハラスメント防止要領は、内容に関して検討が続いており、今年度中に完成させたい。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
・人権週間にあわせて、「職場におけるハラスメントの防止について」といった全庁的な事務連絡の中で相談窓口について周知を行った。	■人権週間にあわせ、相談窓口の周知を行った。	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位	年
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			C	C

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
・引き続き相談窓口の周知と相談しやすい環境の整備を行う。 ・セクシュアルハラスメントに関する相談・苦情処理委員会の委員を選任し、相談体制の充実を図る。 ・職場におけるハラスメント防止要領を作成・公開することにより啓蒙を行う。	随時実施	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
相談窓口の周知及び相談しやすい環境の整備
令和2年度まで
相談窓口の有効な活用で、ハラスメントを起こさせない職場環境の整備

協議会評価	協議会コメント
C	目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

市民部

基本的方向

2 性別にとらわれない活躍の場づくり

市民協働課

具体的方向

(2) あらゆる分野への男女共同参画の推進

事業名	事業概要
① 地域活動への男女共同参画の推進	女性や子ども、高齢者や障害者にとって住みやすいまちづくりの推進

現状	実施中	目標	実施継続

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
12月に実施する「市内一斉防犯パトロール」等において、引き続き参加者の増加を図ると共に、女性も参加しやすい環境づくりを目指す。 防犯灯及び防犯カメラについても、女性の視点による設備の拡充に努め、女性や子ども、高齢者や障害者にとって住みやすいまちづくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ■パトロール参加人数(男女) 1,100人 ■LED防犯灯新設 87基 ■防犯カメラ新設18基 	6,437	実施結果のとおり、防犯活動をととした地域活動に広く女性が参画することができたと共に、防犯灯及び防犯カメラの増設により女性や子ども、高齢者や障害者にとって住みやすいまちづくりの推進が図れた。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
「市内一斉防犯パトロール」については、多くの女性に参加してもらうことができた。 また、防犯灯及び防犯カメラの新設については、男女問わず要望を把握することにより、女性視点による危険箇所を設置できた。	<ul style="list-style-type: none"> ■パトロール参加人数(男女) 1,082人 ■LED防犯灯新設 64基 ■防犯カメラ新設18基 	3,624	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
12月に実施する「市内一斉防犯パトロール」等において、引き続き参加者の増加を図ると共に、女性も参加しやすい環境づくりを目指す。 防犯灯及び防犯カメラの新設についても、女性の視点による設備の拡充に努め、女性や子ども、高齢者や障害者にとって住みやすいまちづくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ■パトロール参加人数(男女) 1,100人 ■LED防犯灯新設 69基 ■防犯カメラ新設44基 	4,932

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
地域住民による自主パトロールや防犯灯の整備などによって、安心して暮らせるまちになってきていると思う市民のアンケート調査結果の割合：55%
令和2年度まで
地域住民による自主パトロールや防犯灯の整備などによ、安心して暮らせるまちになってきていると思う市民のアンケート調査結果の割合：70%

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

さま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 1 - (1) 広聴人権課 】

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

市民部

基本的方向

広聴人権課

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(1) 多様な働き方への支援

事業名		事業概要	
④	起業についての講座の実施及び情報提供	公共機関等での起業に関する講座の実施状況等の情報提供	
現状	情報提供については随時実施している	目標	情報提供については現状維持し、併せて起業についての講座及び相談室の開催

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
・国、県等や他市町村で開催される講座等のチラシ等を随時情報コーナーに配架し、情報提供を行う。 ・「女性のチャレンジ支援講座＆相談室」を1回開催し、NPO法人日本キャリアコンサルタント協会職員(1名)による起業等についての事業を行う。	10名	40	講座のチラシの配布先を、就労支援をしている人が多く集まる所属を中心に案内をした。事業の周知を図り、参加率を上げることができた。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
・郵送されたものや研修・勉強会にて依頼若しくは取得した資料やチラシについて、適宜配架した。 ・講座＆相談室については11月9日(金)に実施。相談者からは就職活動に向けて自己分析ができたなど、好評を得た。	5名	23	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位	年
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
・情報提供については随時実施していく。 ・講座及び相談室は、ニーズの多かった講座を開催し、参加率10割を目指す。	10名	40

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
情報コーナーの人権・男女共同参画コーナーの拡充を行い、当課の事業として起業相談室を最低年1回開催する。
令和2年度まで
起業講座及び相談室の参加率を10割とする。

協議会評価	協議会コメント
A	現時点では目標達成しているが、将来的に課題が見えてくるのが考えられるため、これに備えること。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

2 性別にとらわれない活躍の場づくり

具体的方向

(2) あらゆる分野への男女共同参画の推進

担当部署

市民部

広聴人権課

事業名	事業概要
② 政策・方針決定等の意思決定における男女共同参画の推進	各種審議会等への女性登用の推進

現状	各種審議会等の女性委員の比率 37.6%	目標	各種審議会等の女性委員の比率 50%
----	----------------------	----	--------------------

○ 前年度実績 (平成 30 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
「附属機関等への男女共同参画促進要綱」に基づき、審議会等の女性委員の比率50%を目指し、年1回担当課への文書による呼びかけを行う。	審議会等の女性委員の比率 50%	-	各課に事業の重要度は認識されているが、文書の呼びかけ時期等を検討する。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
30年度は8月15日付で各所属長あてに「審議会等の方針決定の場への男女共同参画促進について(依頼)」文書を送付し周知した。	審議会等の女性委員の比率 37.6%	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位	年
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			B	B

○ 今年度予定 (令和 元 年度)

活動内容	予定数値	予算 (千円)
「附属機関等への男女共同参画促進要綱」に基づき、審議会等の女性委員の比率50%を目指し、年1回担当課への文書による呼びかけ時期を早めて行う。	審議会等への女性登用率50%	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
審議会等の女性委員の比率40%
令和2年度まで
審議会等の女性委員の比率50%

協議会評価	協議会コメント
B	目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 2 - (2) 広聴人権課 】

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

2 性別にとらわれない活躍の場づくり

具体的方向

(2) あらゆる分野への男女共同参画の推進

担当部署

市民部

広聴人権課

事業名		事業概要	
② 政策・方針決定等の意思決定における男女共同参画の推進		男女共同参画に通じる人材の育成支援	
現状	随時実施	目標	人材育成のための研修会のチラシ等を配架し広く周知する

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
かながわ男女共同参画センター等、公共機関において開催される講座のチラシを情報コーナー等に配架し、広く周知する。	-	-	啓発雑誌やチラシ配架について、バックナンバーの配架日数が長くなりすぎないように配慮した。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
かながわ男女共同参画センター等、公共機関において開催される講座のチラシを情報コーナー等に配架し、広く周知した。 女性活躍推進法に関するチラシを商工観光課から関係各所に配布してもらった。 また、県が開催する女性のキャリアアップ講座を市の職員にも案内した。	左記のとおり	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			B	B

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
かながわ男女共同参画センター等、公共機関において開催される講座のチラシを情報コーナー等に配架し、広く周知する。 また、県が開催する女性のキャリアアップ講座等を多くの人に周知する。	-	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
情報コーナーの人権・男女共同参画コーナーの拡充及び研修会の定例化。
令和2年度まで
情報コーナーの人権・男女共同参画コーナーを拡充し、広く市民に情報提供できるようにする。

協議会評価	協議会コメント
B	目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

担当部署

市民部

基本的方向

広聴人権課

1 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

事業名		事業概要	
①	配偶者等、異性に対する暴力行為相談体制の充実	暴力相談の充実	
現状	週4日(月・火・水・金)	目標	週4日(月・火・水・金)

○ 前年度実績 (平成 30 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
DV相談を週4日(月、火、水、金)実施 相談員 2名	204日	2,783	相談件数は平成26年から増加傾向にある。相談窓口の存在が周知されてきたと考えられる。夫婦間だけではなく、交際相手からの暴力(デートDV)が認知されはじめ、多様な相談に対応が必要になっている。更なる相談件数の増加が見込まれるため、相談日を週5日にするよう検討していく。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
相談員2名及び、相談員不在の日は係員が対応。のべ、426件のDV相談(女性相談含む)があった。県で開催されるDV問題に関する事例検討会において、当市で実際に起きたことを例に挙げ、他市の相談員の意見を聞き、対応の参考にできた。	204日	2,542	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定 (令和 元 年度)

活動内容	予定数値	予算(千円)
DV等相談を週5日(月～金)実施 県で開催されるDV問題に関する事例検討会などに参加し、スキルアップを図る。	249日	3,041

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
DV相談を週4日(月、火、水、金)実施 ※実施計画に基づく。
令和2年度まで
DV相談を週4日(月、火、水、金)実施 ※実施計画に基づく。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

担当部署

市民部

基本的方向

広聴人権課

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

事業名	事業概要
② 配偶者等への暴力相談に対する関係機関の連携	DV対応情報交換による関係機関との連携強化

現状	随時実施	目標	必要に応じ、早急に開催する

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
DV対応情報交換会を開催し、関係機関との連携を図る。	状況に応じて開催	-	DVの事案に応じて子ども政策課、生活援護課等、庁内関係部署との連携を図った。また、これまでの支援方法の弱点が見つかるなど、支援方法の見直しを検討するきっかけを得られた。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
DV対応情報交換会という形では実施しなかったが、関係する課が複数にまたがる場合、担当者を集め、随時ケースカンファレンスを行った。	状況に応じて開催	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1"> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
個別のケースに迅速かつ的確に対応するため、DV対応情報交換会を開催し、関係機関との情報共有のため連携を図るが、必要時以外は多くの関係機関を招集する交換会は開催せず、随時、小規模のケースカンファレンスを行っていく。	状況に応じて開催	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
DV対応情報交換会を必要に応じて開催。関係各機関との随時、連絡体制を強化する。
令和2年度まで
DV対応情報交換会を必要に応じて開催。関係各機関との随時、連絡体制を強化する。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

担当部署

市民部

基本的方向

広聴人権課

1 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

事業名	事業概要
③ 異性への暴力防止の意識啓発	セクシュアル・ハラスメント等防止のための啓発の実施

現状	随時実施	目標	市独自の啓発冊子の配布

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
市独自の啓発冊子を男女共同参画講座などで配布し意識啓発する。	400部	-	講座などで配布することにより、男女共同参画やハラスメントについて、啓発ができた。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
男女共同参画講座、男女共同参画週間、ふるさとまつりで配布し啓発することができた。	400部	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			<table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況
今年度における達成状況	目標に対する達成状況			
A	A			

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
講座などで配布することにより、男女共同参画やハラスメントについて、啓発する。	400部	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
啓発冊子の作成について内容検討。職員研修を定期的開催する。
令和2年度まで
啓発冊子の内容については法律改正時などに定期的に見直しを図る。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

担当部署

市民部

基本的方向

広聴人権課

1 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

事業名		事業概要	
③ 異性への暴力防止の意識啓発		県等で開催される講座の情報提供	
現状	随時実施	目標	随時、遅滞なく提供する

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
県や、県内市町村で開催される講座情報等を情報コーナーに配架する。	-	-	これまで以上に、多くの方が相談案内カードを手にする機会を増やせた。 また、市独自でDVに関する冊子を作成し、配架したことによりDVに関しての意識啓発することができた。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
郵送されたものや研修・勉強会にて依頼若しくは取得した資料やチラシについて、随時配架したほか、11月の女性に対する暴力をなくす運動期間中に、市役所1階市民サロンに特設ブースを設け、配架した。 また、男性が被害者となることも考え、市役所内の男子トイレに相談案内カードを置いた。 さらに、市独自のDVに関する冊子を作成した。	-	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと	<input type="checkbox"/> 複数年度単位
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
県や、県内市町村で開催される講座情報等を情報コーナーに配架する。	-	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
情報コーナーの人権・男女共同参画コーナーの拡充を行う。
令和2年度まで
庁内の関係課に広く情報提供を行い、異性への暴力防止の意識啓発の効果を高める。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

2 様々な人権を守るための取組

具体的方向

(2) 有害情報等による被害防止のための取組

担当部署

市民部

広聴人権課

事業名	事業概要
① 情報の正しい認識力を高める学習機会の提供	メディア製作者への性差別意識是正のための取組

現状	広報等での表現やイラスト等のチェック	目標	広報等での表現やイラスト等のチェック、または事前に講座等でこれらについて職員に指導していく

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
広報ざま及び市ホームページ等の表現やイラスト等の使用について確認し、必要に応じて差し替えの指示を出す。	適宜助言を行う。	-	校正時に原稿を確認し、表現やイラスト等のチェックを適正に実施できた。この事業を継続して行ってきたことにより、訂正依頼する回数が減少してきた。今後も、市のホームページや、広報紙を確認していく。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
広報紙やホームページについて、表現やイラスト等に男女の偏りが出ないよう、確認及び訂正の助言を行った。	適宜助言を行う。	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況
今年度における達成状況	目標に対する達成状況			
A	A			

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
引き続き、広報ざま及び市ホームページ等の表現やイラスト等の使用について確認及び、必要に応じて差し替えの指示を出す。	適宜助言を行う。	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
引き続き、広報ざま及び市ホームページ等のイラストや写真の使用について必要に応じて差し替えの指示を出す。チラシ講座の開催。
令和2年度まで
広報ざま及び市ホームページ等の表現やイラスト等について必要に応じて差し替えの指示を出す。また、これ以外にも市が出している広報物についてできる限りチェックを行う。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

市民部

基本的方向

広聴人権課

2 男女平等意識の普及啓発の推進

具体的方向

(1) 男女共同参画に関する情報の収集と提供

事業名	事業概要		
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施	男女共同参画に関する講座の実施		
現状	年2回	目標	年2回

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
男女共同参画講座を実施する。	年2回	174	実習形式の講座を2回実施し、うち1回は男性を対象にした講座を行った。カジ男養成講座は、次年度も内容を変え、継続して行っていきたい。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
講座の内容を、実習形式とし、①10月13日(土)「カジ男養成講座(お弁当づくり編)」、②1月26日(土)「女性のためのパソコン講座」を実施し、好評を得た。	年2回 ①16名 ②18名	182	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
男女共同参画に関する講座の実施 年2回開催 40人 対象: 市民	年2回 40人	194

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
男女共同参画講座を実施する。 年3回開催 50人 対象: 市民
令和2年度まで
男女共同参画講座を実施する。 年3回実施 100人 対象: 市民

協議会評価	協議会コメント
A	現時点では目標達成しているが、将来的に課題が見えてくるのが考えられるため、これに備えること。また、他部署と連携しながら講座内容の見直しに努めること。

さま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ－２－（１） 広聴人権課】

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

市民部

基本的方向

広聴人権課

2 男女平等意識の普及啓発の推進

具体的方向

(1) 男女共同参画に関する情報の収集と提供

事業名		事業概要	
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施		男女共同参画に関する講演会の実施	
現状	年1回実施	目標	年1回実施、250人以上の市民参加

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
座間市男女共同参画推進委員会との共催であくしゅフォーラムを開催する 年1回開催 300人 対象: 市民	年1回 300人	370	昨年度同様、地域の情報誌等を活用し、広範囲に講演会の宣伝ができた。講演内容は好評を頂いたが、集客目標数に届かなかったため、今後は人選やさらなる告知方法を検討する。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
県及び座間市男女共同参画推進委員会との共催で、6月23日(土)にあくしゅフォーラムを開催した。 年1回開催 182人 対象: 市民 講師: 北村年子氏(ノンフィクションライター)	年1回 182人	370	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			B	B

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
座間市男女共同参画推進委員会との共催であくしゅフォーラムを開催する 年1回開催 300人 対象: 市民	年1回 300人	370

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
男女共同参画講演会を実施する。 年1回開催 250人 対象: 市民
令和2年度まで
男女共同参画講演会を実施する。 年1回開催 300人 対象: 市民

協議会評価	協議会コメント
B	目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

市民部

基本的方向

広聴人権課

2 男女平等意識の普及啓発の推進

具体的方向

(1) 男女共同参画に関する情報の収集と提供

事業名	事業概要		
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施	男女共同参画についての情報紙の発行		
現状	年1回 47,000部	目標	年1回 47,000部

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
男女共同参画情報紙の発行 年1回 47,000部 新聞折込、ポスティングによる全戸配布及び公共機関に配架	年1回 47,000部	717	予定通りに遂行できた。残数については、あくしゅフォーラムや男女共同参画講座等でも配布予定。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
3月15日に男女共同参画情報紙「あくしゅ」を発行。42,700部を新聞折込、3,700部をポスティングによる配布。これと併せて各公共機関に配架した。 また、取材協力していただいた横浜銀行本店経由で市内の支店への配架依頼も出来た。	年1回 50,000部	652	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
男女共同参画情報紙の発行 年1回 47,000部 新聞折込、ポスティングによる全戸配布及び公共機関に配架する。	年1回 47,000部	685

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
男女共同参画情報紙の発行 年1回 48,000部 新聞折込とポスティングによる配布及び公共機関に配架
令和2年度まで
男女共同参画情報紙の発行 年1回 47,000部 新聞折込とポスティングによる配布及び公共機関に配架。この他にも配架先を検討する

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

市民部

基本的方向

広聴人権課

2 男女平等意識の普及啓発の推進

具体的方向

(1) 男女共同参画に関する情報の収集と提供

事業名	事業概要
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施	男女共同参画に関する学習情報の収集と提供

現状	随時実施	目標	随時実施

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
情報コーナーに講座等のチラシを配架するとともに、ホームページ等での推進状況の周知とは別に、男女共同参画週間特設ブースを設けるなど、より多くの市民に周知できるよう方法を検討する。また、男女共同参画に関する書籍について、常に新しい情報を得られるよう、書籍の購入をしていく。	-	8	チラシの配架、書籍の購入が出来た。情報拡散の方法として市ホームページの他、市ツイッター等も活用していく。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
チラシの配架、書籍の購入を行った。男女共同参画週間に特設コーナーを設け、ワークライフバランスに関するDVDを上映。広報ざままで周知し、市の男女共同参画推進に向けた取り組みに関してはホームページにも掲載した。	-	8	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位	年
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
情報コーナーに講座等のチラシを配架するとともに、ホームページ等での推進状況の周知とは別に、男女共同参画週間特設ブースを設けるなど、より多くの市民に周知できるよう方法を検討する。また、男女共同参画に関する書籍について、常に新しい情報を得られるよう、書籍の購入をしていく。	-	8

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
情報コーナーの人権・男女共同参画コーナーの拡充を行う。
令和2年度まで
情報コーナーの人権・男女共同参画コーナーの拡充と、男女共同参画週間特設ブースを設けるなど、広く市民に情報提供できるようにする。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

市民部

基本的方向

広聴人権課

2 男女平等意識の普及啓発の推進

具体的方向

(1) 男女共同参画に関する情報の収集と提供

事業名	事業概要		
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施	男女共同参画に関する職員研修の実施		
現状	年1回	目標	年1回

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
新規採用職員を対象とした研修を開催する。	年1回	-	新規採用職員が、各所属に戻り、チラシ作成や講演会等を企画する際に、男女共同参画の視点(イラストの表現、曜日・時間帯の選定、保育付きなど)を頭に入れてもらえるような研修にした。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
平成30年度は、新規採用職員を対象に、男女共同参画の啓発が出来た。	年1回 対象者 25名	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
新規採職員を対象とした男女共同参画に関する研修を開催する。	年1回	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
年1回開催 対象:新規採用職員
令和2年度まで
年1回開催 対象:新規採用職員

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(2) 男女共同参画に基づく適正な待遇の促進

担当部署

環境経済部

商工観光課

事業名		事業概要	
①	多様な働き方のできる職場環境整備の充実	事業所等における男女共同参画に関する取り組み事例の収集・提供	
現状	近隣市町の取組状況の把握、事業所への情報提供に努めた。	目標	・有効な取組状況・事例が得られた場合は事業所に情報提供 ・事業所(企業)向けの男女共同参画に関するリーフレット等を関係各所に配架

○ 前年度実績 (平成 30 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
事業所等における男女共同参画に関する取り組み事例の収集をひとつの目的として、県央地区市町労働行政連絡協議会に出席。また、男女共同参画を含む労働者全般の労働環境の整備、改善を図るため、国・県が送付するリーフレット等を関係各所に配架。	4回/年	0	協議会では男女共同参画に関する議題、協議事項が挙がることは少ない。挙げた場合も、本協議会では他市町においても男女共同参画の事例は少なく、労働行政所管においては、全ての労働者を対象とした中で包括的な解決策を研究していくことで波及するテーマのひとつであると推察する。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
平成30年度の協議会では男女共同参画に関する議題、協議事項が挙がらなかったため、近隣市町の取組状況の把握ができず、事業所への情報提供に至らなかったが、国および県から送付された事業所(企業)向けの男女共同参画に関するリーフレット等については関係各所に配架し、情報提供することができた。	2回/年	0	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定 (令和 元 年度)

活動内容	予定数値	予算(千円)
引き続き県央地区市町労働行政連絡協議会に出席して、事業所等における男女共同参画に関する取り組み事例の収集に努める。また、男女共同参画を含む労働者全般の労働環境の整備、改善を図るため、国・県が送付するリーフレット等を関係各所に配架し、周知していく。		

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
収集した事例をまとめ、商工会を通じ市内事業所に情報提供していく。
令和2年度まで
リーフレット等の配架を通じ周知を行う。

協議会評価	協議会コメント
A	現時点では目標達成しているが、将来的に課題が見えてくることが考えられるため、これに備えること。また、取り組み事例の積極的な収集に努めてください。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 1 - (2) 商工観光課 】

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(2) 男女共同参画に基づく適正な待遇の促進

担当部署

環境経済部

商工観光課

事業名		事業概要	
① 多様な働き方のできる職場環境整備の充実		男女共同参画に取り組む企業に対する表彰制度の検討	
現状	昨年度の検討の終了をもって事業を廃止とした。	目標	

○ 前年度実績 (平成 30 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
当課の事業として、男女共同参画に取り組む事業に対する表彰制度実施の適否について検討を重ねた。	-	-	当課は、労働者全般を対象に働きやすい労働環境の整備等の普及啓発が主事業であると考えことから、男女共同参画推進事業の実施主体は、近隣自治体の状況からも市民協働団体や男女共同参画団体が取り組むことが合理的であると判断に至った。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
昨年度の検討の終了をもって事業を廃止とした。	-	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			<table border="1"> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 24px;">B</td> <td style="text-align: center; font-size: 24px;">B</td> </tr> </table>	今年度における達成状況
今年度における達成状況	目標に対する達成状況			
B	B			

○ 今年度予定 (令和 元 年度)

○ 今後の目標及び計画値

活動内容	予定数値	予算(千円)

平成27年度まで
平成27年度に実施できるように制度化を進める。
令和2年度まで
事業を廃止する

協議会評価	協議会コメント
	-

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 1 - (3) 健康づくり課 】

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

健康部

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

健康づくり課

具体的方向

(3) 男女の生涯にわたる健康支援

事業名		事業概要	
② 保健、医療対策の充実		妊娠・出産に関わる事業の実施	
現状	10569回	目標	妊婦の健康管理の機会の確保

○ 前年度実績 (平成 30 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
母子健康手帳交付時に、妊産婦健康診査費用補助券を発行。	11560回	54,991	母子健康手帳の交付数は減少したが、受診率が87.34%から90.84%へ増加した。また14回目まで利用した妊婦も昨年度389人から407人となり、18人増加した。 妊娠期間に比べ使用回数が少ない方に対し、今後も必要な妊婦健診が受診されるよう、受診率の向上のため、母子健康手帳交付時の当事業の案内の徹底、市ホームページの他、市広報、保健衛生のお知らせで掲載、周知を継続する。				
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位				
母子健康手帳交付時に、妊婦健康診査費用補助券(14回分)を発行。次年度分の妊婦健康診査費用補助券を前年度予算で作成しているが、昨年度より見やすい冊子を作成・配布してくれる業者と協定を結んだ。(有料広告入りで無償)	10569回	46,792	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1"> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定 (令和 元 年度)

活動内容	予定数値	予算 (千円)
母子健康手帳交付時に妊婦健康診査費用補助券(14回分)を発行。(補助回数、金額は維持する)また、現行の妊婦健康診査費用補助券の印刷製本は、予算の削減になるため今後も昨年度依頼した業者との協定を継続できるよう交渉する。	11440回	53,440

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
妊婦の健康管理の徹底を図り、費用負担の軽減のため事業は継続予定である。
令和2年度まで
母子健康手帳交付時に母子保健コーディネーターが面接をし、使用方法などを詳細に説明する。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 1 - (3) 健康づくり課 】

社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

健康部

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

健康づくり課

具体的方向

(3) 男女の生涯にわたる健康支援

事業名	事業概要
② 心とからだの健康に関する意識啓発や支援の充実	自らの健康を守るための取組

現状	実施回数165回 参加者延べ数2,041人	目標	自らの健康を守るための取組
----	-----------------------	----	---------------

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題					
<ul style="list-style-type: none"> ヘルスセミナー(講演):乳がんについて～ ヘルスセミナー(講演):大腸がんについて ストップ メタボ 放置しないで高血糖～血糖値が気になる方へ～ かんたん料理で健康づくり 目指せ 骨 元気 慢性腎臓病予防 座間市保健指導 歯科啓発事業 	1,640人	1,762	糖尿病性腎症の重症化予防の取り組みの一つとして、一般向けの糖尿病予防教室「放置しないで高血糖」を開催し、発症及び重症化予防について普及、啓発を行った。今後は高血圧にも着目し、県の健康支援プログラム等を利用するなど、魅力ある健康教育を行う。					
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位					
<ul style="list-style-type: none"> ヘルスセミナー(講演):乳がんについて～ 1回 ヘルスセミナー(講演):大腸がんについて 1回 ストップ メタボ 2日間コース3回 放置しないで高血糖～血糖値が気になる方へ～2日間コース2回 かんたん料理で健康づくり 3回 目指せ 骨 元気 8回 慢性腎臓病予防 12回 訪問7回 座間市保健指導 15回 歯科啓発事業 9回 	2,041人	1,122	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	<table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況							
A	A							

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
<ul style="list-style-type: none"> ヘルスセミナー(講演):高血圧について～ 1回 ヘルスセミナー(講演):大腸がんについて 1回 おなかスッキリエクササイズ 6回 放置しないで高血糖～血糖値が気になる方へ～2日間コース2回 かんたん料理で健康づくり 3回 慢性腎臓病予防 14回 訪問7回 座間市保健指導 14回 歯科啓発事業 8回 	2,000人	1,139

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
生活習慣病による死亡割合:53%
令和2年度まで
生活習慣病による死亡割合:49%

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。また、年代や男女比率の記述に努めること。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(4) 様々な生活環境への支援

担当部署

健康部

健康づくり課

事業名		事業概要	
③ 家庭生活の男女による協力の啓発		ワークライフバランスと子育ての公的支援	
現状	4日間1コースで、6コース実施 うち3コースは土曜コース	目標	参加者数の増加、仕事をしている夫婦でも参加しやすい体制づくり

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題					
4日間1コースで、6コース(定員25名)実施する。妊娠35週までの妊婦を受け入れる。土曜日開催もあり、父親の参加を促す。引き続き、歯科衛生士、助産師、栄養士による講義内容を組み込む。	左記	230	参加者は前年度からは減少した。土曜コースが参加しやすいという方が多かった。教室アンケートの結果、参加回数や内容についてニーズが多様化しているため教室の開催方法を検討する必要がある。内容については、9割以上の方が理解できていた。					
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位					
4日間1コースで、6コース実施した。 参加者数:妊婦実数 94人(延べ 321人) 夫実数 74人(延べ 143人) 合計参加者数: 168人(延べ 464人)	左記	211	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	<table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	B	B
今年度における達成状況	目標に対する達成状況							
B	B							

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
4日間1コースとし、6コース開催のうち3コースは土曜日のみのコースとする。教室参加者全体が交流できるよう、事業を運営する。	左記	230

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
できるだけ多くの妊婦や父親が出産・産後の育児をイメージし、それに向けての気持ちの準備ができような受講内容を提供する。
令和2年度まで
始めて子育てをする両親がお互いを尊重し、家族で支え合い、出産・育児の準備ができるよう、講義内容や受講環境を整える。

協議会評価	協議会コメント
B	目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(3) 男女の生涯にわたる健康支援

担当部署

健康部

健康づくり課

事業名		事業概要	
②	保健、医療対策の充実	妊娠・出産に関わる事業の実施	
現状	168人	目標	妊婦の歯科健康管理の機会の確保

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
母子健康手帳交付時に、妊婦歯科健康診査受診券を発行。妊婦健康診査費用補助券の冊子に受診券を綴じ込み、妊婦健康診査と合わせて受診勧奨に努める。受診時期を妊娠16週～27週で限定せず、体調に合わせて受診できるよう変更した。	300人	2,118	受診率向上のため、母子健康手帳交付時の当事業の案内の徹底、市ホームページの他、市広報、保健衛生のお知らせに掲載。また、システムを移行し、健診結果の内容を項目ごとに集計できるようにした。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
母子健康手帳交付時に、妊婦歯科健康診査受診券(受診期間は指定せず)を発行。	168人	1,186	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
母子健康手帳交付時に、妊婦歯科健康診査受診券を発行。妊婦健康診査と合わせて受診勧奨に努める。	188人	1,343

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
妊婦の健康管理の徹底を図り、費用負担の軽減のため事業は継続予定である。
令和2年度まで
事業の実施状況(健診データや受診率など)を蓄積し、妊婦の歯科支援体制を整備する。また、受診率向上のため周知する。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重点目標

ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

男女の生涯にわたる健康支援

担当部署

健康部

健康づくり課

事業名	事業概要		
保健、医療対策の充実	産婦の心身のケア、育児サポート		
現状	103人	目標	産後ケアの機会の確保

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
①デイサービス…市内産科医療機関と委託契約を結び、出産・退院直後の母子へのケアを行う。 ②乳房ケア…開業助産師に委託し、希望のある産婦宅へ訪問し、乳房ケアを行う。①②共に妊娠前から産後ケア事業の周知を図る。	226人	972	事業開始事前アンケートで乳房ケアは約20%の産婦に利用希望があり予算計上したが、実際にはデイサービスの希望者の方が多かった。今後も窓口や訪問時に事業説明を行い、必要な産婦に対し利用を促す。また、デイサービスについては希望者が多く、予約がとりづらく希望通りの回数を利用できない状況だった。				
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位				
①ディサービス…産婦の心身の状況、育児状況等を確認し、必要回数の利用券を発行。年間71人が利用した。②乳房ケア…希望者は直接委託助産師に連絡し、32人が利用した。母子健康手帳等交付時や、新生児・未熟児・全戸訪問時に事業説明を実施した。	103人	1,023	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1"> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
デイサービス委託先の利用日を週2回に増設する。また、他の事業者の委託を検討する。	506人	5,029

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
令和2年度まで
産後ケア事業を広く周知し、必要な産婦が受けられる機会を確保する。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重点目標

ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

男女の生涯にわたる健康支援

担当部署

健康部

健康づくり課

事業名	事業概要
保健、医療対策の充実	産後2週間、1か月の産婦に対する健康診査に係る費用の助成

現状	732人	目標	産婦健診の機会の確保
----	------	----	------------

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
母子健康手帳交付時に、産婦健康診査費用補助券(2回分)を発行。(平成30年7月以前に母子健康手帳を受領し、児が8月以降に生まれた産婦には当該補助券を郵送する。)産後2週間、1か月時の健康診査費用補助を行い、産後うつを早期発見に繋げる。	1,300人	6,660	産後うつを発見しやすくするためアンケートを2種類実施しているが、当課に継続支援の連絡をしない医療機関もあり、介入が遅くなる場合もあった。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
事前に市内産科医療機関と健康診査内容について打ち合わせを行い、市民が利用している医療機関にも健診について説明を行った。妊産婦には母子健康手帳等交付時や、新生児・未熟児・全戸訪問時に事業説明を実施した。当市が行う健診を実施していない医療機関で受診した産婦には償還払い制度を準備した。	732人	3,629	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位	年
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			B	B

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
市民が多く利用する産科医療機関に産婦健診の意義や市への連絡方法などについて、説明を行う。また、産後うつの疑いがある場合に受診につなげられるよう精神科医療機関との連携を検討する。	1,453人	7,381

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
令和2年度まで
産婦健診を周知し、産婦全員が受けられる機会を確保する。また、産後うつ、児童虐待の防止を目的とした医療機関との連携のあり方を検討する。

協議会評価	協議会コメント
B	目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 1 - (3) 健康づくり課 】

社会づくり

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(3) 男女の生涯にわたる健康支援

担当部署

健康部

健康づくり課

事業名	事業概要		
メンタルヘルス推進事業	メンタルのケアや自己管理への知識		
現状	40人の募集枠で22人の参加となっている	目標	参加者の増加と日々の心身ともにリフレッシュさせる健康づくりのきっかけをつくる。 募集枠40人の参加を目指す。

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
ざま健康なまちづくりプランの実践事業として、メンタルヘルス関係の講座を実施。 精神的疲労と肉体的疲労について学び、適度に身体を動かすことで心身ともにリフレッシュできることを学ぶ講座。	40人	103	メンタルな面のケアや自己管理ができるような知識が身に付き、ストレス等による心の病の予防が図れる。 参加者増加への工夫が必要。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
参加者からは満足が19名、やや満足が3名と大変好評であり、心と体の関係について今までにない講話がありとても参考になったなどの意見をいただいている。	22人	103	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			C	C

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
心の健康講座 年1回(1講座3日間)	40人	103

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
令和2年度まで
実施時期や時間帯など、参加しやすい講座日を設定し、参加者の増加を図る。

協議会評価	協議会コメント
C	目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。 また、「事業評価及び今後の課題」の具体的な記述に努めること。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 1 - (3) 健康づくり課 】

社会づくり

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

健康部

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

健康づくり課

具体的方向

(3) 男女の生涯にわたる健康支援

事業名	事業概要		
健康まなび事業	50歳以下の市民を対象とした運動習慣づくり		
現状	80人の募集枠の中、38人の参加となっている。	目標	市民の運動習慣のきっかけを作る。 参加者80人を目標とする。

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
ざま健康なまちづくりプランの実践事業として、体力の維持増進や生活習慣病予防に向け、概ね50歳以下の市民を対象に、運動習慣づくりのための講座を開催している。	80人	207	アンケートによる市民ニーズに対応した講座内容と、保育付きの受講環境を整えることで、若い世代の参加が見込まれ、青年期から壮年期にかけての運動習慣作りの契機としての効果が期待できる。 参加者増加への工夫が必要。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
参加者からは満足が30名、やや満足が7名、普通が1名と大変好評であり、講座回数をもっと増やしてほしいなどの意見をいただいている。	38人	207	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			C	C

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
・スマイルエクササイズ(1講座3日間) ・ボクシングエクササイズ(1講座3日間)	80人	207

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
運動習慣を持つ市民の割合 男性40%、女性37%
令和2年度まで
運動習慣を持つ市民の割合 男性50%、女性50%

協議会評価	協議会コメント
C	目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。 また、年代と性別がわかるような記述に努めること。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 1 - (3) 健康づくり課 】

社会づくり

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

健康部

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

健康づくり課

具体的方向

(3) 男女の生涯にわたる健康支援

事業名	事業概要
② WE LOVE ZAMA!健康体操推進事業	運動習慣づくり及び健康増進

現状	リピーターによる参加が多く、新規参加者の増加が少ない。	目標	健康体操を通して健康増進を図る。新規参加者を増加させる。
----	-----------------------------	----	------------------------------

○ 前年度実績 (平成 30 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
WE LOVE ZAMA!健康体操講座 出前講座 指導者 養成講座 チャレンジデー 健康サマーフェスタ 健康文化都市大学 ふるさとまつり	2,100人	74	コミュニティセンターでの定期的なWE LOVE ZAMA!健康体操講座の開催により、健康体操を通して市民が市民のための健康増進が図れている。 今後の課題としては、指導者が年々減少しているので後継者を育成しなければならない。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
WE LOVE ZAMA!健康体操講座 85件 1,358人 出前講座 6件 117人 指導者 養成講座 14人 チャレンジデー 300人 健康サマーフェスタ 150人 健康文化都市大学 32人 ふるさとまつり 50人	2,021人	57	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			B	B

○ 今年度予定 (令和 元 年度)

活動内容	予定数値	予算(千円)
WE LOVE ZAMA!健康体操講座 出前講座 指導者 養成講座 チャレンジデー 健康サマーフェスタ 健康文化都市大学 ふるさとまつり	2,100人	74

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
健康づくりのイベントや健康教育の実施などにより運動習慣を持つ人が多くなってきていると思う市民の割合:55%
令和2年度まで
健康づくりのイベントや健康教育の実施などにより運動習慣を持つ人が多くなってきていると思う市民の割合:60%

協議会評価	協議会コメント
B	目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

健康部

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

医療課

具体的方向

(3) 男女の生涯にわたる健康支援

事業名	事業概要
② ころとからだの健康に関する意識啓発や支援の充実	24時間健康電話相談の実施

現状	外部委託により実施中	目標	継続実施

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
座間市在宅者世帯主及びその同居家族からの健康、医療、福祉、介護及び病院情報等に関する電話相談に対して、保健師、看護師、管理栄養士等の有資格者が相談を受ける。	15,000件	7,825	本事業が市民に浸透してきており、多数の市民に利用していただいております。市民の健康維持等に寄与できている。 利用者の増加により、委託による事業費の増加が見込まれているものの今後ともサービスの維持を図りつつ市民周知に努めていく。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
平成30年度の相談実績は23,305件であった。このうち、健康、福祉、介護関係の電話相談は20,675件、精神に関するメンタルヘルス相談は2,630件であった。	23,305件	5,988	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年				
			<table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
座間市在宅者世帯主及びその同居家族からの健康、医療、福祉、介護及び病院情報等に関する電話相談に対して、保健師、看護師、管理栄養士等の有資格者が相談を受ける。	23,000件	6,684

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
引き続き外部委託により事業を行っていく 件数8,036件
令和2年度まで
引き続き外部委託により事業を行っていく 件数24,000件

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(4) 様々な生活環境への支援

担当部署

子ども未来部

子ども育成課

事業名	事業概要
① 公的サービスの充実	各種子育て、保育サービスの実施

現状	市内14個所で公設児童ホームを運営	目標	利用者のニーズにあった児童ホームの運営
----	-------------------	----	---------------------

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題						
引き続き市内14カ所の公設児童ホームの適切な運営に努めるとともに、相模が丘小、相模野小学校区において待機児童が増加傾向にあるため、この地域の待機児童の動向を注視しつつ解決策についても検討をしていく。	720人 (定員数)	145,990	保護者からの要望が多かった児童ホームの小学校内への移転や、19時までの延長保育を実施し、利用児の安全安心の確保や、サービス向上に図ることが出来た。 待機児童の状況については、引き続き状況を注視していく必要がある。						
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位						
平成30年4月からひばりが丘南児童館にある児童ホームを学校内に移転し、利用児の利便性向上を図った。 また、19時までの延長保育を平成30年9月から実施し、サービスの向上に努めた。	668人 (年間平均)	141,216	<input type="checkbox"/> 年度ごと <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度単位 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>年</td> </tr> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	5	年	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	B	B
5	年								
今年度における達成状況	目標に対する達成状況								
B	B								

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
引き続き市内14カ所の公設児童ホームの適切な運営に努めるとともに、待機児童の動向についても注視していく。 待機児童が増加傾向にあった、相模が丘、相模野小学校区において、平成31年4月から新たに民設民営の児童ホームを開設する。	720人	158,288

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
子ども子育て支援事業計画に基づき計画遂行し待機児童の解消に向けた施策を推進する。
令和2年度まで
子ども子育て支援事業計画に基づき計画遂行し待機児童の解消に向けた施策を推進する。

協議会評価	協議会コメント
B	目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

子ども未来部

基本的方向

子ども政策課

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(4) 様々な生活環境への支援

事業名	事業概要
② 地域支援サービスの充実	児童施設等の充実

現状	相談指導を随時実施	目標	相談業務体制の充実
----	-----------	----	-----------

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
各子育て支援センターにおいて、子育て家庭が抱える育児不安等の解消を図るため、母や子どもたちの交流の場になることや、相談・指導等子育て支援を実施する。	のべ相談者数 2,400人	37,290	子育て家庭が抱える育児等の不安の解消や負担の軽減を図るために、子育て支援センターにおいて、相談・指導等の子育て支援を実施することができた。 第3支援センターは多くのメディアにも取り上げられ、育児等の不安や負担を軽減するための場所として認知度が上がったと考えている。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
各子育て支援センターにおいて、育児不安等の相談・指導を行い、孤独感や育児に悩む母親たちの子育て家庭が抱える育児等の不安の解消や負担の軽減を図ることができた。また、父子での来場者や、男性のみの相談もあった。また、月に1回、各支援センターの代表者を集め、当課職員も出席する報告会を行い、対応に苦慮する相談内容等については情報を共有した。	のべ相談者数 2,466人	36,226	<input type="checkbox"/> 年度ごと <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度単位 5 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
平成31年4月1日に座間市立第2子育て支援センターが移転し、移転と同時に同センターにおいて利用者支援事業が開始される。利用者支援事業では、講習を受けたセンタースタッフが、妊娠、出産、育児等に関する相談を受け、利用者と社会資源間のコーディネートなど、必要に応じた支援を行う。子育て支援センターで実施することで、子育て家庭が日常的に訪れやすく、敷居の低い場所で相談できる利点である。	のべ相談者数 3,000人	38,852 + (利用者支援事業予算) 7,200

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで	保育所の運営、子育て支援センターの運営などにより、子育てしやすいまちになってきていると思う市民の割合：30%
令和2年度まで	保育所の運営、子育て支援センターの運営などにより、子育てしやすいまちになってきていると思う市民の割合：40%

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

担当部署

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

子ども未来部

基本的方向

子ども政策課

1 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

事業名		事業概要	
① 配偶者等、異性に対する暴力行為相談体制の充実		児童相談の充実	
現状	係長1名、専門相談員2名、保健師1名、係員2名で相談業務を行う	目標	児童相談のスキルアップ

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
児童虐待相談対応の充実のため、神奈川県や県等が実施する研修等を受講し、専門相談員以外の職員についてもスキルアップを図る。	虐待相談件数の予定数値は無し	8,395	児童福祉法改正に伴い、児童虐待相談も更に増加傾向となることが予想されるため、相談員を1名増員した。研修に積極的に参加し個人のスキルアップを図った。要保護児童等の対応について関係機関との連携を充実する。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
児童虐待相談を受けるに当たり、訪問時の話題の切り出し方など、初歩的なことから各分野の研修を受講し、専門職及び専門職以外の職員においても相談対応のスキルアップに努めた。	虐待相談 250件	4,316	<input type="checkbox"/> 年度ごと <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度単位 5 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
悲惨な虐待事件の発生に伴う厚労省作成のガイドライン変更により、児童虐待相談も更に増加傾向となることが予想される。児童相談業務の体制を充実させるため、専門相談員以外の職員についてもスキルアップを図る。	虐待相談件数の予定数値は無し	8,886

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
今後相談件数は増加することが予想されるため、専門相談員以外の職員についてもスキルアップを図る。
令和2年度まで
児童相談業務の体制を充実させるため、専門相談員以外の職員についてもスキルアップを図る。また、児童福祉等専門職職員の増員を図る。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 1 - (2) 保育課 】

【社会づくり】

重点目標

担当部署

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

子ども未来部

基本的方向

保育課

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(2) 男女共同参画に基づく適正な待遇の促進

事業名	事業概要
① 多様な働き方のできる職場環境整備の充実	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する意識啓発の実施

現状	目標
市内の公・私立保育園で育児相談事業を展開している。	各保育園で統一した育児相談事業を随時実施する。

○ 前年度実績 (平成 30 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
新設2園においても、男女がともに仕事と育児の両立ができるように、父親も気軽に保育園で育児相談等ができる環境を整える。	26園	-	2園が新設され、さらに相談環境の充実を図ることができた。今後も育児相談等を行う体制を、継続して推進する必要がある。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
市内の公・私立保育園で、園庭解放(週1回)や保育フェスティバルの時に訪れた保護者に対し、声かけをし、父親も気軽に相談ができる環境を整えた。また、保育園に看板を掲示し随時育児相談を行っていることの周知をはかった。	26園	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年				
			<table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定 (令和 元 年度)

○ 今後の目標及び計画値

活動内容	予定数値	予算(千円)
新設保育園(2園)においても、男女がともに仕事と育児の両立ができるように、父親も気軽に保育園で育児相談等ができる環境を整える。	28園	-

平成27年度まで
現在保育園の掲示板で周知している所であるが、さらに地域に根ざした相談事業を推進するため積極的な活動を行う。
令和2年度まで
継続して育児相談事業をHP等で周知の徹底を図り、地域に根ざした環境を作る。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。また、「活動内容」等、具体的な記述に努めてください。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 1 - (4) 保育課 】

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(4) 様々な生活環境への支援

担当部署

子ども未来部

保育課

事業名	事業概要
② 地域支援サービスの充実	児童施設等の充実及び待機児童の解消

現状	民間保育所で定員の弾力的運用を行っている。	目標	座間市子ども・子育て支援事業計画に沿って保育所整備等を進め、待機児童の解消に努める
----	-----------------------	----	---

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
座間市子ども・子育て支援事業計画に沿って保育所整備等を進め、待機児童の解消に努める。 ・平成30年度:スマイルワールド保育園(110名定員)及びマジオたんぽぽ保育園相武台(60名定員)の新設により、待機児童解消に向けた取り組みを進める。	26園	-	座間市子ども・子育て支援事業計画に沿って保育所整備等を進めるとともに、民間保育所の協力を得て、保育園の新設・定員増、定員の弾力的な運営を行い、待機児童の解消に努めたところではあるが、待機児童数は減少したものの、保育所入所希望が多いため待機児童の解消には至らなかった。				
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位				
継続的に民間保育所の協力を得て定員の弾力的な運営を行うとともに、平成30年4月1日にスマイルワールド保育園(110名定員)及びマジオたんぽぽ保育園相武台(60名定員)の新設により、待機児童の解消に努めた。	26園	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年				
			<table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
座間市子ども・子育て支援事業計画に沿って保育所整備等を進め、待機児童の解消に努める。 ・令和元年度:子どもの家ひまわり保育園(40名定員)、座間ゆめっこ保育園(60名定員)の新設及び栗の実保育園の改築(30名定員増)により、待機児童解消に向けた取り組みを進める。	28園	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
保育所の待機児童数:20人 (第四次座間市総合計画 実施計画)
令和2年度まで
保育所の待機児童数:0人 (第四次座間市総合計画 実施計画)

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【社会づくり】

重点目標

担当部署

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

子ども未来部

基本的方向

保育課

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(4) 様々な生活環境への支援

事業名	事業概要
③ 家庭生活の男女による協力の啓発	男女による協力、子どもの家事参加への啓発

現状	児童による調理の体験を実施している	目標	児童による家事への参加
----	-------------------	----	-------------

○ 前年度実績 (平成 30 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
調理の体験や保護者参加行事を通して、子どもの家事参加への啓発を行っていく。	年4回	-	各保育所において、調理(おやつ作りや芋煮会等)の体験や保護者の参加行事を通して、子どもの家事参加への啓発をおこなうことに努めた。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
保育所において、調理(おやつ作りや芋煮会等)の体験や保護者の参加行事を通して、子どもの家事参加への啓発を行った。	年4回	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定 (令和 元 年度)

活動内容	予定数値	予算 (千円)
引き続き調理の体験や保護者の参加行事を通して、子どもの家事参加への啓発を行っていく。	年4回	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
調理(おやつ作りや芋煮会等)の体験や保護者参加行事を通して、子どもの家事参加への啓発を行っていく。年3回実施する。
令和2年度まで
調理(おやつ作りや芋煮会等)の体験や保護者参加行事を通して、子どもの家事参加への啓発を行っていく。年4回実施する。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重 点 目 標

担 当 部 署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

子ども未来部

基 本 的 方 向

保 育 課

1 男女平等への意識改革のための教育

具 体 的 方 向

(1) 教育現場における男女平等教育の充実

事業名	事業概要
① 発達段階に応じた男女平等教育の推進・充実	幼児期における男女平等教育の実施

現状	目標
日常保育の中で男女の区別なく互いを尊重しあう大切さを教えている	児童が男女の区別なく互いを尊重しあう

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
保育現場だけではなく、日常の家族生活中でも、男女区別の意識を無くすため、保育士と家族が連携し、乳幼児の育児時期から互いを尊重しあう大切さを教える。	2回	—	保育士と家族が連携し、乳幼児の育児時期から男女の区別なく互いを尊重しあうことを継続していく必要がある。				
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位				
保育参観時に父にも保育の参加を呼び掛ける等、日常の保育の中で保育士と家族が連携し、乳幼児の育児時期から男女の区別なく互いを尊重しあうことに努めた。	2回	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年				
			<table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（令和 元 年度）

○ 今後の目標及び計画値

活動内容	予定数値	予算 (千円)
前年と同様に、保育士と家族が連携し、乳幼児の育児時期から男女の区別なく互いを尊重しあうことの大切さを教えていく。	2回	—

平成27年度まで
年3回の保育参観及び保育参加(発表会等)実施。
令和2年度まで
年3回の保育参観及び保育参加(発表会等)実施。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。また、「活動内容」等、具体的な記述に努めてください。

【意識啓発】

重点目標

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

担当部署

子ども未来部

基本的方向

1 男女平等への意識改革のための教育

保育課

具体的方向

(1) 教育現場における男女平等教育の充実

事業名	事業概要
③ 指導者・保護者の男女平等教育に関する理解及び指導の促進	指導者への男女平等教育に関する学習機会の提供

現状	随時実施	目標	随時実施

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
職員の地域支援研修について、参加を呼びかけ実施する。受講した職員は、保護者からの相談に活かせるよう努める。	583人	1,641	職員が受けた研修を、保護者の相談に反映出来た。継続して研修会や講演会への参加を通し、職員の男女平等教育の意識向上をはかる必要がある。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
研修を受けた職員が、他の職員にフィードバックし、それぞれが保護者からの相談に対応できた。	501人	1,589	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
継続して研修会や講演会の参加をし、意識向上をはかる。	500人	1,129

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
研修会への参加。(年3回)
令和2年度まで
研修会への参加。(年500人)

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

1 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

担当部署

子ども未来部

青少年課

事業名	事業概要
③ 異性への暴力防止の意識啓発	デートDV・売買春防止のための取組

現状	随時実施	目標	配架方法を工夫し啓発の効果を高める
----	------	----	-------------------

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
県や広聴人権課の講座情報等のパンフレットを配架し、啓発を行う。引き続き館内2箇所配架するとともに、定期的に残数を確認し、必要に応じて追加する。また、青少年補導員にもパンフレットを配り周知する。	—	—	啓発活動は、予定通り実施できた。今後も、継続して啓発に努めるとともに、関係機関との連携を強めていく。				
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位				
30年度において、異性への暴力に関する青少年からの相談は無かった。パンフレットを館内2箇所配架し、啓発に努めた。青少年補導員にもパンフレットを配り周知した。	左記のとおり	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1"> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
県や広聴人権課の講座情報等のパンフレットを配架し、啓発を行う。引き続き館内2箇所配架するとともに、定期的に残数を確認し、必要に応じて追加する。また、青少年補導員にもパンフレットを配り周知する。	—	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
相談やパトロール等を通じ、被害防止に努め、相談員等のスキルアップを行う。また情報のパンフレットを他事業でも配架し、啓発を行う。
令和2年度まで
青少年相談やパトロール等を通じ、被害防止に努め、青少年相談員や職員等のスキルアップを行い、情報のパンフレットを様々な場所で配架し、啓発を行う。

協議会評価	協議会コメント
A	現時点では目標達成しているが、将来的に課題が見えてくるのが考えられるため、これに備えること。また、発信だけでなく着信を意識した啓発に努めてください。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

2 様々な人権を守るための取組

具体的方向

(2) 有害情報等による被害防止のための取組

担当部署

子ども未来部

青少年課

事業名	事業概要
① 情報の正しい認識力を高める学習機会の提供	関係機関における携帯電話やインターネットを通じた情報の利便性と危険性の指導

現状	チラシ等の配架とイベント時の配布	目標	対象者に効果的にチラシ配布を行う

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
国、県等からのパンフレットを配架する。座間市民ふるさとまつりに向け、スマートフォン等のフィルタリングの重要性を訴えるオリジナルのチラシを作成し、配布する。相談等の中で、利用上の危険性を示し、指導を行う。関係機関との連携会議でチラシを配布する。	チラシ配布 2,000枚	10	国、県等からのパンフレットを配架・配布し、周知を図った。今後も継続して学校や座間警察署生活安全課防犯少年係、神奈川県警察少年相談保護センター、厚木児童相談所等との情報交換に努め、指導を行っていく。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
国、県等からのパンフレットを配架した。座間市民ふるさとまつりに向け、スマートフォン等のフィルタリング、ネットトラブル防止の重要性を訴えるオリジナルのチラシを作成し、配布した。相談等の中で、当該事業に関わるものはなかった。関係機関との連携会議でチラシを配布した。	チラシ配布 2,000枚	10	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
国、県等からのパンフレットを配架する。座間市民ふるさとまつりに向け、スマートフォン等のフィルタリングの重要性を訴えるオリジナルのチラシを作成し、配布する。相談等の中で、利用上の危険性を示し、指導を行う。関係機関との連携会議でチラシを配布する。	チラシ配布 2,000枚	10

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
国、県等からのパンフレットを配架し、情報収集に努め、相談等の中で利用上の危険性を示し、指導を行う。また、座間警察署生活安全課防犯少年係、神奈川県警察少年相談保護センター、厚木児童相談所と情報交換を行っていく。
令和2年度まで
国、県等からのパンフレットを配架し、情報収集に努め、相談等の中で利用上の危険性を示し、学校と連携して指導を行う。

協議会評価	協議会コメント
A	現時点では目標達成しているが、将来的に課題が見えてくるのが考えられるため、これに備えること。また、発信だけでなく着信を意識した啓発に努めてください。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

2 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(2) 有害情報等による被害防止のための取組

担当部署

子ども未来部

青少年課

事業名	事業概要
② 有害な社会環境の是正への取組	県の青少年保護条例に基づき、有害図書等の配架状況の調査等を実施する。

現状	県の青少年保護条例に基づき毎年実施	目標	県の青少年保護条例に基づき毎年実施。 可能な限りの実地調査
----	-------------------	----	----------------------------------

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
市内の書店等で有害図書等の配架状況の調査等を実施し、青少年保護育成条例に基づく対策の徹底を指導していく。 30年度は青少年補導員協議会に協力を要請し、カラオケボックス、インターネットカフェ・まんが喫茶、書店について合同で調査を行う。	-	-	予定どおり実施することができた。今後も継続的に調査をして、社会環境の健全化に役立てるため、県と市町村が連携し、行っていく。また、青少年にとって有害な環境を早期発見・対応ができるよう青少年補導員協議会に調査の協力を要請する。				
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位				
市内の書店等で有害図書等の配架状況の調査等を実施し、青少年保護育成条例に基づく対策の徹底を指導した。 30年度は青少年補導員協議会に協力を要請し、カラオケボックス、インターネットカフェ・まんが喫茶、書店について合同で調査を行った。7月から8月にかけて市内6店舗で実施し、各店舗における調査結果を県に報告した。	左記	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1"> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
市内の書店等で有害図書等の配架状況の調査等を実施し、青少年保護育成条例に基づく対策の徹底を指導していく。 令和元年度は青少年補導員協議会に協力を要請し、インターネットカフェ・まんが喫茶、古書店、映像ソフト取扱店、ゲームソフト取扱店、複合店等について合同で調査を行う。	-	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
市内の書店等で有害図書等調査を実施し、青少年保護育成条例に基づく対策の徹底を指導していく。
令和2年度まで
市内の対象店舗で有害図書等調査を実施し、青少年保護育成条例に基づく対策の徹底を指導していく。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

2 様々な人権を守るための取組

具体的方向

(2) 有害情報等による被害防止のための取組

担当部署

子ども未来部

青少年課

事業名	事業概要
③ 相談体制の充実	青少年相談の充実

現状	毎日月～金実施	目標	毎日月～金実施
----	---------	----	---------

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
週5日(月～金)実施 相談員1名 週2日(火、木)実施 心理相談員各1名 週2名体制 相談員の資質向上を図りながら、関係機関と連携し相談業務を進めていく。	—	3,759	相談件数が大幅に増加して300件から398件となったが、平成29年度から相談受入体制の拡充を図ってきたため、適切に対応することができた。引き続き相談業務の充実を図る。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
上記のとおり活動を行い、30年度は延べ398件の相談があった。	398件	3,600	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
週5日(月～金)実施 相談員1名 週2日(水、木)実施 心理相談員各1名 週2名体制 相談員の資質向上を図りながら、関係機関と連携し相談業務を進めていく。	—	3,703

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
週5日(月～金)実施 相談員1名 週1日(火)実施 心理相談員1名 ◎必要に応じて増員等検討する。
令和2年度まで
週5日(月～金)実施 相談員1名 週2日(水、木)実施 心理相談員各1名計2名 臨床心理のカウンセリングの充実を図る。

協議会評価	協議会コメント
A	現時点では目標達成しているが、将来的に課題が見えてくるのが考えられるため、これに備えること。また、記述できる範囲で相談傾向などの報告に努めてください。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 2 - (1) 教育指導課 】

【社会づくり】

重点目標

担当部署

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

教育部

基本的方向

教育指導課

2 性別にとらわれない活躍の場づくり

具体的方向

(1) 適性と意欲が生かせる進路選択への支援

事業名	事業概要
① 適性と意欲を尊重した進路指導の推進	多様な進路選択の可能性の提供

現状	性別ではなく、個性や適性に応じ実施	目標	多様な意欲を考慮した進路指導の推進
----	-------------------	----	-------------------

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
適性と意欲を尊重した進路指導の実施	中学校 6校	-	性別にとらわれることなく、個性や適性、意欲を重視した進路指導を推進していきたい。また、インクルーシブ教育の推進をしていく必要がある。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
進路指導委員会において生徒自身が性別にとらわれることなく個性や適性に応じた進路選択ができるよう各校相談を行った。 ・各校において「職業体験」を実施 ・各校において「三者面談」を実施 ・各校において「個人面談」を実施	中学校6校	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（令和 元 年度）

○ 今後の目標及び計画値

活動内容	予定数値	予算 (千円)
生徒の多様な希望に応える進路指導及び進路相談の実施	中学校 6校	-

平成27年度まで
中学3年間を通した、キャリア教育の充実
令和2年度まで
義務教育9年間を通して、一人ひとりに適したキャリア教育の推進

協議会評価	協議会コメント
A	現時点では目標達成しているが、将来的に課題が見えてくるのが考えられるため、これに備えること。

さま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I - 2 - (1) 教育指導課 】

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

2 性別にとらわれない活躍の場づくり

具体的方向

(1) 適性と意欲が生かせる進路選択への支援

担当部署

教育部

教育指導課

事業名		事業概要	
② 指導者への人権・男女共同参画に関する研修の実施		人権研修の実施	
現状	年2回開催	目標	年2回実施

○ 前年度実績 (平成 30 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
教職員を対象に、人権教育研修会を実施した。 初任者研修「人権教育 はじめの一步 ～参加体験型学習とおして～」(宿泊研修の内容を抜粋) 「人権とは・ユニバーサル社会・人権教育の目標・人権啓発方法・外科医・ちはるさんはだあ〜れ・逆転の発想・一人ひとりが身につけること・先入観・固定概念・偏見など」を実施した。	年2回 各17名	-	教職員への人権教育の中で、男女の性差を含めた人権課題などに触れた。振り返りシートから、人権感覚や男女共同参画に対する認識を高めることができたことが伝わった。次世代への影響を与える教職員への研修は、今後も継続して実施していく必要がある。				
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位				
身近な生活の中に、様々な男女の性差を含めた人権課題が存在していることに気づきを与え、様々なアクティビティを使って、児童・生徒目線からの人権について、感じられる学習の大切さを実感してもらうことができた。また「めぐみ」も視聴し、今後も解決していくべき問題があることを示すことができた。	年2回 各17名 + 初任者研修24人 合計41人	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定 (令和 元 年度)

活動内容	予定数値	予算 (千円)
人権教育研修会を実施 (教職員対象)	年2回 各17名 + 初任者研修18人 合計35人	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
人権教育研修会を実施する。 年1回開催 20人 対象:教職員
令和2年度まで
人権教育研修会を実施し、内容の充実を図る。 年2回開催 17人(各校1名)+初任者研修 対象:教職員

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。実施結果のコメントにも「気づきを与え」とあるように、この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I — 2 — (1) 教育指導課 】

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

担当部署

教育部

基本的方向

教育指導課

2 性別にとらわれない活躍の場づくり

具体的方向

(1) 適性と意欲が生かせる進路選択への支援

事業名	事業概要
② 指導者への人権・男女共同参画に関する研修の実施	指導者へのセクハラや多様な性に関する研修の実施

現状	事故防止会議内で実施	目標	事故防止会議内で実施

○ 前年度実績 (平成 30 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
各学校で、外部講師を招聘するなどを含めた事故防止会議(研修)を取り込む。部活動における新規の外部指導者については、採用時、市教委指導主事による研修を実施。	4回/年	-	セクシャルハラスメント防止、多様な性に関する研修を実施した。平成30年度も市内小・中学校でこれらの事故が発生していないことから、教職員の意識を保っているものと考えている。今後も継続して実施していく。また、外部指導者に対しては、パワハラ、セクハラ、人格否定的な発言等は許されるものでないことを研修で扱った。				
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位				
全ての市内小・中学校で、「事故防止会議」を実施した。部活動における新規の外部指導者について、市教委指導主事による研修を実施。	4回/年	-	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定 (令和 元 年度)

活動内容	予定数値	予算 (千円)
各学校で、外部講師を招聘するなどを含めた事故防止会議(研修)を取り込む。部活動における新規の外部指導者については、採用時、市教委指導主事による研修を実施。	4回/年	-

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
生徒・教職員の人権を守るため、事故防止会議(研修)を充実させる。
令和2年度まで
市内小・中学校において、学校事故が一切発生しない職場環境を整備する。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

さま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅱ－１－（１）教育指導課】

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

担当部署

教育部

基本的方向

教育指導課

1 異性への暴力防止と根絶への取組の推進

具体的方向

(1) 異性への暴力防止のための取組の推進

事業名		事業概要	
③ 異性への暴力防止の意識啓発		異性への暴力防止に関する授業の実施	
現状	異性への暴力防止の意識啓発	目標	主に保健体育、道徳等の授業で実施

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
各校で保健体育、道徳の授業で実施 (該当学年で1時間以上)	市内17校各学年1時間以上	—	暴力は人権侵害であることを授業等で取り扱った。また、DV、セクシャルハラスメント、ストーカー行為等についても、発達段階に応じて指導を行った。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
主に保健体育及び道徳の授業で実施 ・小学校保健の授業「犯罪被害の防止」で実施 ・中学校保健体育の授業「異性の尊重と性情報への対処」で実施	市内17校各学年1時間以上	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算 (千円)
各学校で保健体育、道徳の授業で実施	市内17校各学年1時間以上	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
主に保健体育、道徳の授業で実施
令和2年度まで
保健体育、道徳、学級活動の授業で実施

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【人権の尊重】

重点目標

担当部署

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

教育部

基本的方向

教育指導課

2 様々な人権を守るための取組

具体的方向

(1) 多様な性のあり方の理解と啓発

事業名	事業概要
① 発達段階に応じた適切な性教育の実施	男女のからだの仕組みの違いや、性の有り方など発達段階に応じた教育の指導

現状	各校で実施	目標	各校で実施

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
各学校の保健体育の授業で実施	市内17校 各学年1時間以上	—	保護者の考え方の違いにも配慮し、学習指導要領にそって保健体育の授業を通じて、男女のからだの仕組みの違いや性の在り方、異性との関わり方など発達段階に応じた教育の指導を行った。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
各学校で保健体育の授業で実施 (該当学年1時間以上) ・小学校の保健授業「育ちゆく体とわたし」で実施 ・中学校保健体育の授業「生殖機能の成熟」で実施	市内17校 各学年1時間以上	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況

○ 今年度予定（令和 元 年度）

○ 今後の目標及び計画値

活動内容	予定数値	予算 (千円)
各学校の保健体育の授業で実施	市内17校	—

平成27年度まで
隔年で、学校保健安全研修会を実施。主に保健体育等の授業で実施。
令和2年度まで
保健体育、学級活動等の授業で実施。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。また、日常の学校生活の中でも積極的な指導に努めてください。

【人権の尊重】

重点目標

担当部署

Ⅱ 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

教育部

基本的方向

教育指導課

2 様々な人権を守るための取組

具体的方向

(2) 有害情報等による被害防止のための取組

事業名	事業概要
① 情報の正しい認識力を高める学習機会の提供	教育機関における携帯電話やインターネットを通じた情報の利便性と危険性の指導

現状	各校で情報モラル教育の実施	目標	携帯電話やインターネットを通じた情報利用や活用の利便性と危険性の指導
----	---------------	----	------------------------------------

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
今日の課題研修会を実施 (講師:神奈川県警察本部生活安全部サイバー犯罪捜査課 対策係 情報セキュリティアドバイザー 加野 智喜 氏) 各校で情報モラル教育を実施	市内17校 各1名 年1回	—	教職員がインターネットの利便性と危険性の両方を正しく理解し、ネットを通じた性被害などにあわないよう、今後の有効な指導について学んだ。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
今日の課題(携帯)研修会を各小・中学校の教職員代表を対象に実施した。(6/14 5-1会議室) 各校で情報モラル教育を実施	市内17校 各1名 年1回	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
今日の課題研修会を実施 各校で情報モラル教育を実施	市内17校 年1回	—

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
今日の課題研修会を実施。 各校で、情報モラル教育の実施。
令和2年度まで
今日の課題研修会を実施。 各校で、情報モラル教育の実施。 保護者への啓蒙も、深めていく。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

教育部

基本的方向

教育指導課

1 男女平等への意識改革のための教育

具体的方向

(1) 教育現場における男女平等教育の充実

事業名	事業概要
① 発達段階に応じた男女平等教育の推進・充実	家庭科等の授業を通じて男女がおたがいに自立するための教育の実施

現状	各学校で実施	目標	各学校で実施

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
各学校の家庭科、保健体育、道徳で実施 (該当学年で1時間以上)	市内17校	—	男子・女子ともに共同して考え作り上げていく教材を通し、相互理解を深めている。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
・各学年で家庭科、保健体育、道徳の授業で実施。 ・小学校家庭科「見つめよう家庭生活」の授業で実施。 ・中学校家庭科「家庭と家族関係」の授業で実施。	市内17校	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			<table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況
今年度における達成状況	目標に対する達成状況			
A	A			

○ 今年度予定（令和 元 年度）

○ 今後の目標及び計画値

活動内容	予定数値	予算 (千円)
各学校の家庭科、保健体育、道徳で実施	市内17校	—

平成27年度まで
各学校で、主に家庭科、保健体育、道徳で実施。
令和2年度まで
各学校で、家庭科、保健体育、道徳、学級活動で実施。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

教育部

基本的方向

教育指導課

1 男女平等への意識改革のための教育

具体的方向

(1) 教育現場における男女平等教育の充実

事業名	事業概要
① 発達段階に応じた男女平等教育の推進・充実	人権、男女平等教育の実施

現状	随時実施	目標	人権、男女平等教育を推進する
----	------	----	----------------

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
男女平等教育の実施	市内17校	—	人権及び男女平等について、正しい認識と指導が伴うよう、学級経営研修会や人権教育研修等で引き続き教職員に学んでもらう。体育祭での色長・団長や児童・生徒会役員などで女子児童生徒の比率が高まっていることから、実施されていることが現状につながっていると評価した。				
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位				
授業や日々の学校生活の諸活動(係活動や常任委員会活動など)、行事等を通じ、発達段階に応じた男女の平等意識を育んだ。社会状況の変化により、より自然な雰囲気での学びが可能になってきている。	市内17校	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年				
			<table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（令和 元 年度）

○ 今後の目標及び計画値

活動内容	予定数値	予算 (千円)
発達段階に応じた人権、男女平等教育の実施	市内17校	—

平成27年度まで
人権、男女平等教育の実施
令和2年度まで
人権、男女平等教育の実施

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ－１－（１）教育指導課】

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

教育部

基本的方向

教育指導課

1 男女平等への意識改革のための教育

具体的方向

(1) 教育現場における男女平等教育の充実

事業名	事業概要
③ 指導者・保護者の男女平等教育に関する理解及び指導の促進	指導者への男女平等教育に関する学習機会の提供

現状	随時実施	目標	随時実施
----	------	----	------

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
男女平等教育も含めた人権研修案内の送付 PTA研修講座 教職員研修	年1回以上	—	県からの資料を配付・周知し、意識の向上に努めてきた。各校いずれかの研修に参加出席することができた。				
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位				
案内送付(一例) ・知ることからはじめる人権啓発研修講座 小野和佳氏(11/27) ・第1回 人権教育指導者研修講座 諸橋泰樹氏(7/2) ・第2回 人権教育指導者研修講座 浅沼実氏(10/25) ・人権教育学習会 石山春平氏(6/13) ・県市町村人権教育担当者研修会 内海崎貴子氏(4/25) ・県市町村人権教育担当者研修会 山寺香氏(6/11) 他	左記	—	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年				
			<table border="1"> <tr> <th>今年度における達成状況</th> <th>目標に対する達成状況</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（令和 元 年度）

○ 今後の目標及び計画値

活動内容	予定数値	予算 (千円)
男女平等教育も含めた人権研修案内の送付 PTA研修講座 教職員研修	年1回以上	—

平成27年度まで
研修案内の送付。 成人教育講座の実施。 職員研修の実施。
令和2年度まで
研修案内の送付。 成人教育講座の実施。 職員研修を繰り返し行っていく。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【社会づくり】

重点目標

I ひとりひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

1 仕事と生活の調和が図れる環境の整備

具体的方向

(4) 様々な生活環境への支援

担当部署

教育部

生涯学習課

事業名	事業概要
③ 家庭生活の男女による協力の啓発	こどもの発達に応じた父親(男性)ならではのこどもとの遊び方を学ぶ

現状	目標
父親が参加しやすくするため、週末に父親を対象としたこどもの年齢に応じた遊び方の講座を開催した。	健やかに子育てするために父親の育児参加を促す。

○ 前年度実績 (平成 30 年度)

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
父親とこどもの親子遊び講座。幼稚園の体育主任を講師にお招きしてこどもの成長に応じた運動機能や運動能力を高める男性ならではのダイナミックな遊び方を楽しく学び、イクメンスイッチを入れる。今回はパパはもちろん参加ですが、おじいちゃんも参加できるソフトな「とほほ編」を9月に、ハードな「がっつり編」は12月に行い祖父と父親の育児参加を促し健全な子育てに還元する。	定員30組を2回	20	運動機能の発達に応じた全身を使っの様々な遊びや特別なおもちゃが無くても段ボール箱やすずらんテープ、スーパーのビニール袋など身近なもので楽しく遊ぶ方法などを学ぶことでイクメンレベルをUPできた。父親の育児参加を促し母親だけに育児を負担させることのない子育てを目指す。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
日曜日に開催することで日頃は幼い我が子と何時間もママ抜きで遊ぶ機会の少ないパパやおじいちゃんたちが全身を使って子どもと遊ぶ様子は微笑ましく、こどもとの遊び方を成長に応じて学ぶことでイクメンレベルをスキルアップさせた。	とほほ編 15組 34人 がっつり編 18組 50人	20	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1"> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定 (令和 元 年度)

活動内容	予定数値	予算(千円)
公民館の年間を通した事業にも父親の参加が増えてきたので、さらなる父親への子育て支援講座を開催していく。	参加者30組	10

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
講座参加者に占める男性の割合を10%増やす
令和2年度まで
公民館の講座をきっかけにパパとこどもとの時間が増えることで、男性の育児参加を促し健全な子育ての啓発に努める。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

教育部

基本的方向

生涯学習課

1 男女平等への意識改革のための教育

具体的方向

(2) 生涯学習における男女平等教育の推進

事業名	事業概要		
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施	夫婦で参加できる子育て講座の実施		
現状	男女の性差なく子育てするための講座を実施している。	目標	男女平等意識を啓発するとともに、夫婦が協力して子育てすることを促す。

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
子どもの誕生によって大きく変化した環境の中で、夫婦がお互いを理解し、上手に協力しながら子育てしていくコツを学ぶ講座を年2回実施した。	40人	179	子育ての専門家にお越しいただき、夫婦で協力して子育てをしていくコツについて具体的にお話いただいた。講義と参加者交流がバランスよく盛り込まれた講座を実施することができた。保育付き・日曜開催とすることで、夫婦二人での参加を促すことができた。今後もより多くの受講者に参加いただけるよう工夫していきたい。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
内容：夫婦で協力して子育てをしていくことについて 平成30年9月9日（日）講師：NPO法人ファザーリング・ジャパン 理事 東 浩司 平成30年12月9日（日）講師：「大切にしたいこと。一食う、寝る、遊ぶ、ととのえる」主宰 ぼうだ あきこ	33人	84	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			A	A

○ 今年度予定（令和 元 年度）

○ 今後の目標及び計画値

活動内容	予定数値	予算 (千円)	平成27年度まで	
今年度も昨年度同様、年2回の講座を行う。引き続き男女平等意識の啓発、夫婦が協力して子育てすることについて学ぶ。	40人	139	多くの受講者が参加できるよう、講師の選定や会場選びの工夫をする。	
			令和2年度まで	
			より多くの受講者が参加できるよう、受講生のニーズを汲み取った講座を目指す。	

協議会評価	協議会コメント
A	現時点では目標達成しているが、将来的に課題が見えてくるのが考えられるため、これに備えること。

【意識啓発】

重点目標

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

基本的方向

1 男女平等への意識改革のための教育

具体的方向

(2) 生涯学習における男女平等教育の推進

担当部署

教育部

生涯学習課

事業名	事業概要		
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施	各種講座の実施		
現状	「親と子が共に育つ教室」 9月から12月(全10回)の長期講座 子育て中でも学びたい。という保護者のための 子育て支援講座	目標	子どもと一緒に過ごせる幸せを感じ、感謝する心を忘れずに母親 だけが育児をするのではなく男女の性差なく助け合って楽しく子育て をするようになることを目的に講座を企画運営。母親の参加が 多いが、男女関係なく参加してもらえるようにしていきたい。

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
全10回の子育て支援講座のひとつとして、パートナーとの関係について考える講座「男性と女性の考え方の違い」「夫婦のコミュニケーション講座」などを開催。	30組	450	おやともを受講したママたちが「おやともは絶対受講した方が 良いよ」とママ友に宣伝してくれるおかげで、毎年定員30 人を超え抽選となる受講申込がある。秋から冬に向かう 全10回の長期講座にも関わらず講座の出席率も高く、修 了後の受講生の満足度が高い。保育の関係で木曜日の 午前中開催のため母親の参加がほとんどなので講座内容 をパートナーに伝える工夫をしていくことが課題	
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
毎回の感想やまとめ誌からきちんと講座にこめたメッセージが 届いていた。保育の関係で平日(木曜日)開催のため母親の 参加が多いが、毎回の講座の後に内容について夫婦で話し 合う受講生が多く男性にも伝わっている様子がみられた。	30組	398	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度におけ る達成状況	目標に対す る達成状況
			A	A

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定 数値	予算 (千円)
「親と子が共に育つ教室」 長期の子育て支援講座を9月から全10回で開 講。男女共に社会に進出する時代を迎え、未来を 担う子どもたちが健やかに成長するために男女の 性差なく子育てするために、男女共同参画を念頭 に講座内容を起案。	30組	453

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
ますますの男性(父親)の育児参加を促す
令和2年度まで
座間に住み、座間で子育てして良かったと 感じ、母親が独りで子育てをするのではな く、父親はもちろん地域で子育てを見守る環 境を作る

協議会評価	協議会コメント
A	現時点では目標達成しているが、将来的に課題が見えてくるのが考えられるため、これに備えること。

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

教育部

基本的方向

生涯学習課

1 男女平等への意識改革のための教育

具体的方向

(2) 生涯学習における男女平等教育の推進

事業名	事業概要
① 生涯学習における男女共同参画意識啓発	各種講座の実施

現状	毎年、子育て中の親を対象にテーマを変えてわくわく学級を行っている。30年度は「自分へのご褒美」をテーマに募集をした。毎年人気が高く定員25名のところ5名増やし30人にしたが父親の参加はなかった。	目標	配偶者と男女の平等についての意識の啓発を図る。
----	---	----	-------------------------

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
わくわく学級は地域で子育てをしている親同士がつながることを目的としたプログラム。全8回 各2時間	25人	70	例年父親、母親問わず募集しているが、日程の関係上母親の参加が少ない。30年度も母親が子育てをしながら抱える悩みやストレスを吐き出し、日常のスキルアップを目指した。今後は夫婦ともに子育て生活について考える機会の提供も考えてゆく。	
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位	
講師を招き子育ての悩みをオープンにしながらこれからの子育て、家族の在り方、自身の生き方について考える時間を持たた。	参加者30人	70	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年	
			今年度における達成状況	目標に対する達成状況
			B	B

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
仕事に戻る母親が多い中、育児休暇中に参加する方々も増えている。一人で頑張りすぎず、夫婦間で家事の役割分担について考えたり、育児について相談できる教室を開きます。	30人	70

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
-
令和2年度まで
男女の協力が日常的にスムーズに行えるような講座を行うことを考えている。

協議会評価	協議会コメント
B	目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ－１－（２）生涯学習課】

【意識啓発】

重点目標

担当部署

Ⅲ 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

教育部

基本的方向

生涯学習課

1 男女平等への意識改革のための教育

具体的方向

(2) 生涯学習における男女平等教育の推進

事業名	事業概要
① 生涯学習における男女共同参画意識啓発	各種講座の実施

現状	少子高齢化が進み、女性の社会での活躍が期待される中、保育園やハローワークへの関心とともに、様々な働き方の可能性への探究が高まっている。	目標	女性たちが自分のキャリアデザインを描き、今何をスタートすればいいのかを考える機会と仲間づくりを進める。
----	---	----	---

○ 前年度実績（平成 30 年度）

※予定数値及び実績数値は実数値を入力

活動内容	予定数値	予算(千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題				
ワーキングママへの準備講座 子育てと仕事の両立についての情報提供や、情報交換の場としました。講師に保育課職員、社協ファミリーサポート担当、先輩ワーキングママなどをお迎えし、講座を実施した。	25人	158	就労に向けたスキルや保育園探しなど具体的な課題について学習し、お互いの情報交換や悩みを共有する場とすることができた。				
実施結果	実績数値	決算(千円)	目標達成のために要する年度単位				
保育園に預ける際のポイントや保育料などについて具体的な情報を提供することが出来た。	24人	83	<input checked="" type="checkbox"/> 年度ごと <input type="checkbox"/> 複数年度単位 年 <table border="1"> <tr> <td>今年度における達成状況</td> <td>目標に対する達成状況</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	今年度における達成状況	目標に対する達成状況	A	A
今年度における達成状況	目標に対する達成状況						
A	A						

○ 今年度予定（令和 元 年度）

活動内容	予定数値	予算(千円)
ワーキングママへの準備講座	25人	133

○ 今後の目標及び計画値

平成27年度まで
休日や夜間など開催の講座を開催し、男女平等教育を推進する。
令和2年度まで
年間の講座の中に男女平等等のテーマを1コマ増やす。

協議会評価	協議会コメント
A	非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。また、「活動内容」等、具体的な記述に努めてください。